

緑化だより

No.192 令和5年4月号



ニリンソウ

- 季節の花(ワラビ)
- 水生昆虫の話(ヒメクロサナエ)
- 小さな世界こけ
(ヒツジゴケの仲間)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

ワラビ

石走る(いはばしる) 垂水(たるみ)の上の さ蕨(わらび)の
萌(も)え出(い)づる春に なりにけるかも
志貴皇子(しきのみこ) 万葉集 卷8-1418

これを訳しますと
(岩の上をしぶきをあげて流れる滝のほとりに、柔らかい芽を出したばかりの
わらびが芽吹いています。ああ春になったのですね。)

志貴皇子は奈良時代(716年) 天智天皇の第7皇子です。

古代の人たちは、ものの始まりには神聖な力がこもると感じており、春の到来を喜ぶ気持ちがほとばしっています。

ワラビの新芽は早蕨(さわらび)ともよばれ、にぎりこぶしを緩やかに開いたような新芽には、冬の間衰えた生命を再生する永遠の力があると信じられ、春を告げる勢いや、もえたぎる力を感じました。古代の若菜摘みの行事にはこのワラビも摘まれて、神様にささげられました。その後、神様と共に食したと思われ、神聖でおめでたい植物であると言われています。

ワラビは、酸性の土壌を好むシダ植物の一種です。

コバノイシカグマ科で世界の温帯から熱帯にかけて広く分布しています。

日本では全国の日当たりの良い草原や山地などに群生しています。

春から初夏にかけてまだ葉が開いていない若芽を摘んで食用にします。この若い芽は、あくが強く生食はできません。熱湯で湯がいてあく抜きをして、煮物やあえ物、塩漬けにして食べます。また地下茎からとれる澱粉は、ワラビ粉として、わらび餅など和菓子の材料にします。

古くから日本人には親しみがあり、明治時代から栽培され、今では店頭で売られて旬を味わうことができます。

日本では代表的な山菜の一つで、山菜の愛好家には早春のワラビ採りは楽しみの一つになっています。(上村)



ワラビ

水生昆虫の話

ヒメクロサナエ

桜の花が美しく咲き誇る春は始まりの季節。若緑の新芽や動き始めた生き物達に春の息吹を感じます。さくら祭りやみどりの日の集いと、緑化センターは春のイベントが目白押しです！

春から初夏にかけては、いろいろな種類の水生昆虫たちが、水中から地上へと飛び立つ季節でもあります。その中から、今回は緑化センターの小川に生息している溪流のサナエトンボの仲間「ヒメクロサナエ(姫クロちゃん)」についてご紹介します。

ヒメクロサナエは、サナエトンボ科ヒメクロサナエ属で、本州・四国・九州に分布する日本特産種の1種1属で、樹林に囲まれた源流や上流域の溪流に生息しています。主に、川岸すぐ近くの落ち葉が堆積した、やや泥状の砂中に浅く潜り込んだ状態で生活しているので、捕まえると写真のように体表の毛に泥が付着したような姿をしています。

ヤゴは肉食で、水生生物を捕食しながら2年間水の中で過ごします。終齢幼虫の体長が約23mmとやや小型のヤゴで、赤茶色から黒褐色でがっしりした体をしており、頭部背面のあたりに淡黄色の斑紋があります。その模様がオオヤマカワゲラを彷彿とさせる柄で厳つさがあり、触角はサナエトンボの特徴でもある扁平な楕円形で、内側に少しカーブしているのが特徴です。

成虫は他のサナエトンボとよく似ており、黒地に黄色い斑紋のあるやや小型のサナエトンボ(38~46mm)で、同じ小型サイズのサナエトンボに比べると頭部と胸部がやや大きいのが特徴です。また、オスとメスを比較すると、ほんの少しだけメスのほうが大きいようです。

4月の後半ごろから羽化が始まりますので、今月から来月にかけて、緑化センターの小川でも、川のほとりでぶら下がって羽化している様子が観察できる絶好のチャンスです。ヤゴからヒメクロサナエがゆっくりと羽化する様子を、ぜひ観察してみたいかがでしょうか？(西村)



ヒメクロサナエのヤゴ

小さな世界 こけ

ヒツジゴケの仲間

ヒツジゴケは道路脇や樹幹や木の根元などに見られる黄緑色をしたコケで、茎は這い、そこから出た枝に葉をつけています。

植物体がヒツジの毛のようにやわらかなことから連想されて付けられたのが名前の由来です。

ハイゴケ科によく似ていますが、肉眼で見ると、枝分かれが不規則で、葉があまり曲がらないので、全体が盛り上がったような感じですが、ハイゴケ科はやや平べったくて、規則正しく羽状になる種が多い傾向があります。

顕微鏡で見ると、ヒツジゴケ科の葉には中肋がありますが、ハイゴケ科では中肋がないか、短く2本あります。

仲間には、岩上に生えるヒモヒツジゴケ、土に生えるケヒツジゴケ、土や岩や腐木に生えるナガヒツジゴケ、ヒツジゴケ、ハネヒツジゴケ、仲間の中では最も大きいアラヒツジゴケなどがあります。

その中から今回は次の種類を観察してみましょう。

ケヒツジゴケは、淡い緑色で白っぽく、やわらかい感じのコケで、乾いたときには、葉はいろいろな方向を向いたり、曲がったりします。卵形の葉はくぼんでいますが、浅い縦じわがあります。

ナガヒツジゴケは、街中の公園などでも普通に見られるコケです。茎の長さ5 cm以上で羽状に枝を出し、斜上します。葉は枝に密着し、湿っても開きません。中肋は葉の2/3くらいです。葉は卵形で深い縦じわがあり、葉先に尖がありますが曲がりません。(山根)



ケヒツジゴケ



ナガヒツジゴケ

研修会のご案内

- 4月2日(日)『自由工作塾』 10:00～15:00 イベント会場
木の実や枝を使って自由に工作しよう
講師:緑化センターボランティア ふれあい湧
※自由参加(随時受付)、1作品100円、荒天中止
- 4月2日(日)『ネイチャーゲーム』 10:00～15:00 イベント会場
自然の中での遊びを体験します
講師:広島市 シェアリングネイチャーの会
※自由参加(随時受付)、無料、荒天中止
- 4月7日(金)『4月の自然探勝』 10:00～12:00 学習展示館前 集合 ※
散策しながら植物を観察します
講師:森林植物研究家 埴田 宏
- 4月10日(月)『早春の写真教室』 10:00～12:00 学習室 集合
散策路を歩きながら植物の撮影について学びます
講師:二科会会員 宗岡 泰昭
※要予約(定員に達しました)、無料、カメラ持参
- 4月15日(土)『藤ヶ丸山トレッキング』 10:00～12:00 第5駐車場 集合
距離往復2.0km、標高差340mに挑戦します。やや健脚向き
講師:緑化センター職員
※要予約(先着15名)、無料、雨具持参、雨天中止
- 4月22日(土)『山菜教室』 10:00～12:00 学習室 集合
室内での講義。試食はありません。
講師:森林インストラクター 長井 稔
※自由参加、無料、
- 4月29日(土・祝)『自由工作塾』 10:00～15:00 イベント会場
木の実や枝を使って自由に工作しよう
講師:緑化センターボランティア ふれあい湧
※自由参加(随時受付)、1作品100円 雨天の場合30日に順延
- 4月29日(土・祝)『ネイチャーゲーム』 10:00～15:00 イベント会場
自然の中での遊びを体験します
講師:広島市 シェアリングネイチャーの会
※自由参加(随時受付)、無料、雨天の場合30日に順延
- 4月29日(土・祝)『たね団子を作ろう』 1回目 11:30～ イベント会場
草花のたね団子作りに挑戦しよう 2回目 14:00～ 同上
講師:みずえ緑地
※現地受付(各先着20名)、材料費200円、雨天の場合30日に順延

☆ お知らせ・ご案内 ☆

- ・ひろしま遊学の森 スタンプラリー2023 春 ～5月21日(日)
スタンプラリー:緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!
- ・さくら祭り ～4月16日(日)
さくらクイズに参加して景品ゲット
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約60種類が楽しめます。
- ・さくら祭りお楽しみイベント 4月2日(日) 10:00～15:00
場所:レストハウス前広場
- ・第27回みどりの集い 4月29日(土・祝)10:00～15:00
場所:多目的広場、雨天の場合30日(日)に順延



◎ 展示会

- 場所:レストハウス(パネル展示)
「野の花 水彩画」展 4月28日(金)～5月28日(日)
- 場所:学習展示館(ボード展示)
緑化センターのさくら写真展 ～4月17日(日)

